

# 会議報告書

会議名	第2回消防委員会
日 時	令和5年11月30日(木) 午後5時50分～7時10分
会議場所	防災センター2階
出席者	消防委員 6名 総務部長 団長 事務局(地域防災課職員)3名
議題 及び内容	司会 事務局  1 開会  2 審議 機能別団員の役割等拡充について、提案どおり承認  他の処遇改善事項、団員へのアンケートについては継続審議  審議内容は別紙審議質疑のとおり  3 その他 次回委員会は、令和6年1月24日(水)18時からに決定  4 閉会

## 2 審議

### (1) 機能別団員の役割等拡充について

#### 会長

はじめに、前回の協議事項について正副団長で内容を確認いただいているとのことですので、そちらの内容を団長から説明をお願いします。

・団長から正副団長で確認した内容の説明

#### 会長

前回の協議内容を基に正副団長に意見をまとめてもらいましたが、この他に何か意見はありますか？

#### 委員

機能別団員は上級救命以外の訓練にも参加できるのですか？機能別団員への講習は各分団ごとで行うということでよいのですか？

#### 団長

特に決まりはないですが、現在は各分団で行っていますので、臨機応変に機能別団員には参加してもらえばと思います。

#### 委員

機能別団員の任期が60年までになると、その分年上の人気が増えると思いますが、それについて現役団員のやりにくさはないのですか？

#### 団長

そのような意見はないので、大丈夫だと思います。もし意見があがってきたらその時に対応していきたいと思います。

#### 会長職務代理者

団長の時に各分団から報告を受けた限り、そのようなことはないです。機能別団員は現役の団員が活動しやすいようにしてくれているので、逆に現役からは有難いといった声があがっています。

#### 委員

機能別団員を対象にした機能別団員の役割講習などの予定はありますか？

#### 事務局

機能別団員は、長年団員をされてきた方なので、特別研修を設ける予定はないですが、例えば車両など機材が新しくなったりした場合については、レクチャーが必要だと考えています。

#### 会長職務代理者

正副団長の意見で機能別団員の負担が増えないよう配慮するとの意見もありますので、その辺は大丈夫だと思います。

#### 会長

機能別団員に活動服などの支給はされているのですか？

#### 事務局

機能別団員にも新基準の活動服ほか各種装備品の支給をしています。

#### 委員

機能別団員だけで出動してもいいのですか？

#### 事務局

特に制限はないので、大丈夫です。

会長

機能別団員役割等拡充については、前回の協議内容どおりでよろしいですか？

全員

意義なし

会長

それでは、運用にあたっては団長にお任せします。

（2）消防団員の処遇を改善し、団員を確保するための方策について

・配布資料について説明（事務局）

事務局

団員確保の方法は最近であればSNSを通じてなどあると思いますが、基本的には直接誘われて入団した人がほとんどだと思います。最近は横の繋がりも少なくなってきてている中で、団員もどこに対象者がいるのかが分からない。そこで、議員さんなどネットワークを持っている人の情報交換が出来ればという正副団長の意見です。

委員

住民基本台帳の抽出が団員でも出来るのではないか？それを使って、対象年齢の人を抽出していくしかないのではないか。会長の所は地域の住んでいる人を把握していると思うが、こちらではほとんど分からないので、会を設けても団のほしい情報は提供できないのではないか。自分が現役の時は勧誘委員会を作って、町内会長など地域の人から情報をもらい、候補者が集まつたら夜何人かで誘いに行きました。そこで入った人は何人かいます。やはり会って話す必要があるので、情報がほしいというのであれば先ほどの抽出で法律に則って行うしかないのではないかと思います。市として、いかに団員になることのメリットを特にその奥さんに対して出せるかだと思う。現在はサマーランドの家族招待だが、町内会自治会が団員を紹介したら、奨励金出すといったことが出来るのか、それを市で検討してもらう必要はあると思います。

委員

市の職員が消防団に入らないといったことは如実に感じている。地元で育った人はそれだけで地域の道や人を知っているのだから、+10点などの加点をしてよいと思う。総務部長は人事の権限をもっていると思うので、地元愛を持っているということで点数加算できないのか？

総務部長

消防団の加入実績があれば、それを書いてもらえれば採用に加味するような制度にしています。

委員

その実績も検討してもらって、それでも人が足りないようなら方策を検討してもらえばと思います。

委員

以前は採用時に市長から入団の声掛けがありましたよね。団本部も現在5名で、イベントの準備をするのも大変という声を聞きます。

事務局

採用時に前向きな発言をしていても入庁してから実際に入ってはくれないということもあります。いまはピンポイントに声掛けしていますが、なかなか難しい。現在は市内外にこだわらず、勧誘をしています。現在は各報酬も個人振り込みされて待遇も改善されていると思うので、引き続き、勧誘を続けていきたい。

委員

職員の総数は増えているのに、職員の団員数は減っている。もう少しなので、総務部長在籍の間にしっかりと取り組んでもらいたい。

会長

アンケートの内容について、何か意見はありますか？

委員

これを見て思ったのは、五日市のPTAがなくなったときのアンケートによく似ている。何でも言いたいことを言えるから。シンプルなようだが、アンケートを出すときは十分に気をつけないと極論を言われてしまう。

委員

記名式なら言わないことも、匿名だと何でも言ってしまう。そこが難しいと思います。アンケートを行うかどうかは決まっているのですか？

事務局

それも含めて審議してもらえればと思います。

委員

アンケートの記入例も入れてしまうと、そのまま書いてしまうから、作らない方がいい。

委員

アンケートを取るときは、賛成反対ではなく、定年延長であれば、何歳までがいいですかといった聞き方の方が上手く運ぶと思う。その上で反対の人は意見を書いてくると思う。それはそれで吸い上げればいい。最初から肯定していくアンケートの方がいいと思う。

委員

スケジュール的に、アンケートについてはいつまでに内容を決めればいいのですか？

課長

アンケートについては、本日結論がほしかったところです。

事務局

結論がすぐに出せないようであれば、継続審議していく内容ですので、次回でも構いません。

委員

アンケートを行う意味は何かあるのですか？正副団長が直接意見を吸い上げてはいけないのでですか？

事務局

それもひとつの方針だと思います。アンケートを行う意図としては、現役団員の意見を、事務局、正副団長で把握していないところがあるためです。

委員

団長はどのようにお考えですか？

団長

団員の正確な意見、その比率などが分からないので、アンケートを使って吸い上げたいと思っていました。

会長

アンケートの結果は団員に公表する予定はあるのですか？

事務局

現段階では、公表を考えていません。

委員

アンケートをとっても、定年延長賛成の意見は出てこない。委員の話していた方法にするなど、アンケートの取り方が大切になる。

委員

私たちの強みとしては、定年延長が60歳から65歳まで上がる所以、それに倣って定年を5歳延長します。そのスタンスでアンケートを取った方がいいと思います。

委員

この間言われたことは、機能別が60歳までになることは現役団員はもう知っていて、現役の定年が45歳か50歳になるのではと思い始めている。それなら、折衷案で48歳にしてもらつて、50歳になるところを頑張って段階的に48歳にしましたという方向も考えました。

会長

幹部の団員は、退団者が超過していることに危機感を抱いているのではないか。このような他の自治体の統計を幹部団員には見てもらって、各分団にも落としてもらえば理解も得られると思います。本日はアンケートについての結論は出さずにということでおろしいですか？

事務局

アンケートの取り方については、いろいろ意見も頂きましたので、一度持ち帰り、次回消防委員会で再度ご提案と承認をいただければと思います。

委員

資料作ってもらって、確かにあきる野市は面積もありますが、定数506というのは多過ぎなのではないでしょうか。市内の人の住んでいる地域は十数パーセントではなかったかと思いますが。

事務局

一度見直したことはありますが、団員減少に対して、定数はこれまで見直しがされてきませんでした。これについても、議論していただければと思います。

委員

定数については、統廃合とセットだと思いますので、これについてもアンケートで意見を吸い上げた上で議論を行っていければと思います。

事務局

委員のお話のとおりで、定数は単純に人口だけで決めるのではなく、統廃合とセットにして、どうしたら消防力が維持できるのか、時間をかけて議論ができます。

委員

過去、火災で他分団と中継して放水したこともあるが、定数については機材のことも考慮して進める必要があり難しいところだと思います。

会長

あきる野市の人口分布も参考にしながら、バランスをみて決められればいいのではないかと思います。

委員

前回の委員会で、女性団員について話をさせてもらいました。私、獣友会の会員をしていますが、最近は女性が「狩りガール」という言葉が出来るくらい増えてきている。女性が入れば一気に状況も変わるかもしれない。早急に来年からというわけではないですが、意見を聞くことが出来ればと思います。

委員

あきる野市の自衛消防隊、ここ最近女性が出場して優勝している。そういう人は団本部だったり入ってくれる人もいるのではないか。私は本部付にして直ぐにでも募集をしていいと思います。現在も条例上は入れるが、女性団員募集としっかり銘打って募集をかけてもいいのではないか。職員にいい人いますよね？

事務局

自衛消防隊の人には声をかけているところです。

会長

他の会社も女性の隊員多いですよね。

委員

消防署も女性多いですよね？

委員

女性がはしご車も運転しています。

会長

女性消防団員についても、次回その受け皿など議論できればと思います。